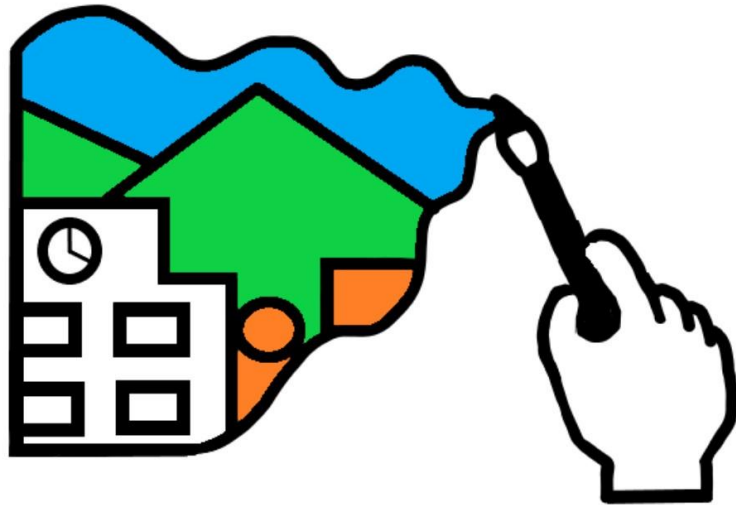
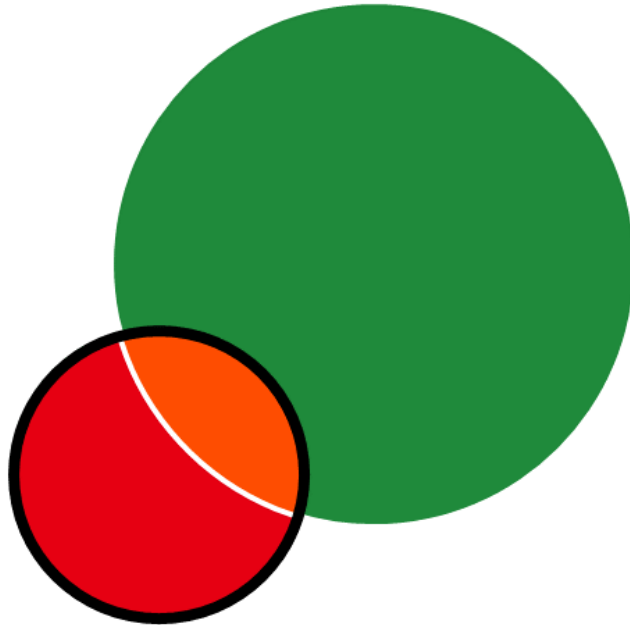


No.1



熊本の地域を活性化、創造する取り組みということをわかりやすく表現するために熊本の景色を描くロゴマークにしてみました。また、学生が絡んでいるということで学校を景色の中に入れ込みました。

No.2



「色について」

熊本県立大学のロゴマークで使われている色 (#E60012)

とマッチングした自治体や企業で使われているロゴマ

ークの色を割り出し、一番多く使われており熊本のイメ

ージカラー第 2 位である緑 (#1F8A3B)、アクセントと

して玉名市役所・熊本市国際交流振興事業団・ジェイコ

ム九州熊本局で使われていた、オレンジ (#FE4D01) を

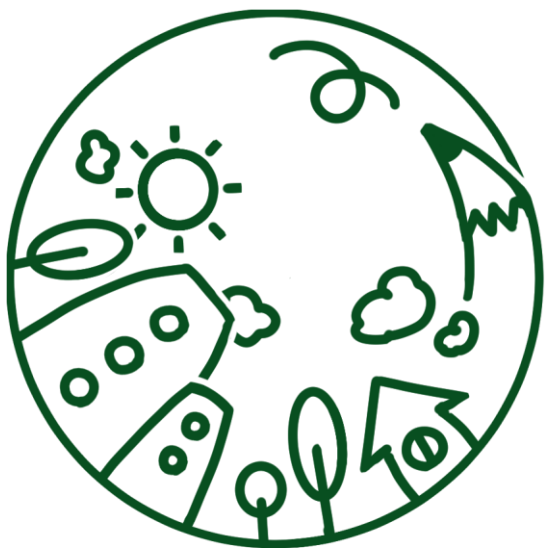
採用しました。

「デザインについて」

地域と連携することに着目し、熊本県立大学と熊本の自

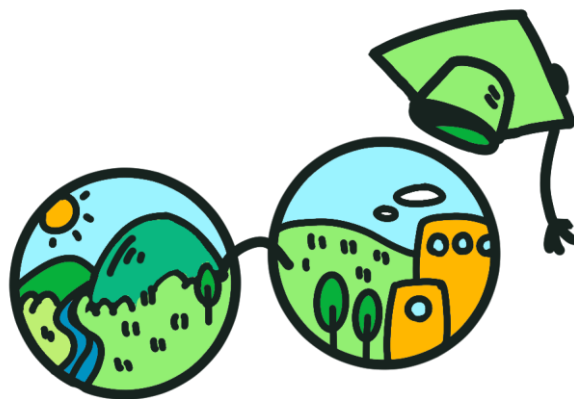
治体や企業とのマッチングを示すデザインにしました。

No.3



地域の企業や団体からの研究テーマを学びに生かすという意味をこめて、地域をイメージしたモチーフを丸くおさめるため円でぐるりと囲み、学びに生かすという点を鉛筆で表現しました。単色の方はシンプルに、もう一つはオレンジ色と黄緑と水色の三色で統一し、明るく可愛く親しみのあるデザインしました。

No.4



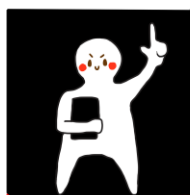
学生の視点から研究テーマを考
えるという意味をメガネを通して見る地域
とアカデミックキャップをモチーフに
使って表現しました。単色の方はシン
プルに、もう一つはオレンジ色と黄緑
と水色の三色で統一し、明るく可愛く
親しみのあるデザインしました。

No.5



シュッとしている県立大学のシンボルマークの黒（地域と大学の伝統）、赤（世界に向かって力強く伸びていく先進性と若々しい躍動感）を参考にしつつ、対照的な曲線を多用したところがポイントです。中心にはカルデラ火山の阿蘇山をイメージした赤を配置してその外側には3人が肩を組みこれを抱きかかえていて連携の意味を込めました。周りの部分でオレンジを追加色に選んだり中途半端な感じにしたりしたのは、太陽や歯車に見えてほしい気持ちもあったからです。中央の白は大学生らしい純粋な気持ちで、地域と大学での研究を川の上流と下流のように結んでほしいと思いました。

No.6



地域連携型 学生研究

熊本県立大学のロゴマークを参考にしました。おなじみの県立大のロゴが窓みたいの下に開いて、そこから元気な学生が出てくる感じにしました。

文字は「連携」や「研究」など、所々言葉のイメージに合わせてアレンジしました。

いろんな場面で使いやすいようなシンプルなデザイン、くっきりした色遣いになっています。

No.7



デザインを考えるにあたって、企業と大学の『和』をイメージしました。それは丸い2つの赤と黒の輪により表現されています。そして、よく和を見ると、それはCo.という文字を表しています。coには企業(companyco)と共同という2つの意味があり、その中心には学生を表す角帽が描かれています。すなわち、『大学』と『企業』が『共同』で『和』を成すというメッセージを込めました。

また、色もポイントです。赤と黒は熊本県立大学のシンボルであり、また、そこに白が加わると、熊本のマスター、『くまモン』の色となります。熊本の企業と大学ということの色を強調しました。

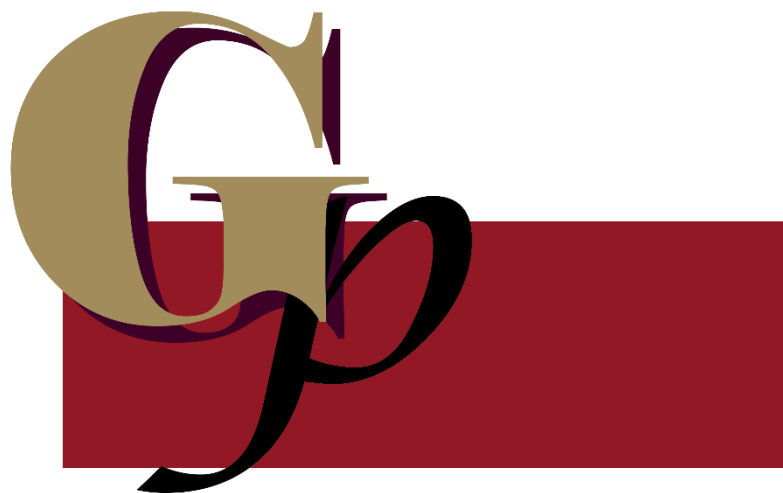
したがって、当デザインには、『熊本の企業と大学が和になって地域を盛り上げていく』という意味が込められており、『盛り上げていく』という未来志向は、coの先端の矢印によって表されています。

No. 8



閃いている学生の横顔にも、電球にも見えるようにデザインしました。

No. 9



熊本県立大学のシンボルマークのカラーを参考にデザインしました。

No. 1 0



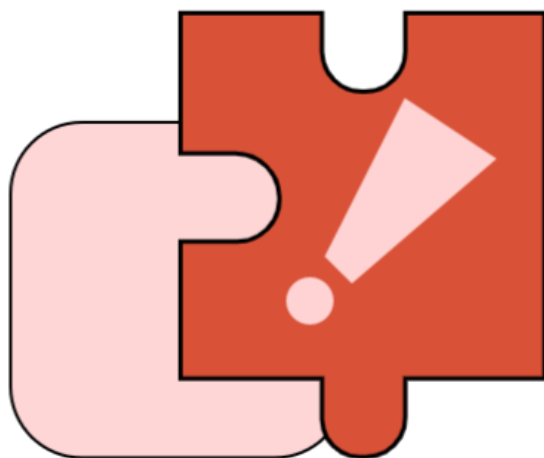
熊本県立大学のロゴをベースに循環型の活動を目指して四角形を構成しました。

熊本の土地をイメージした図形を合わせることで幅広い可能性を表現しました。

一角だけ欠けている部分は地域にとっての足りていないピースを表現しており、そこを本事業で解決していくという意味合いがあります。

図形の交わりの中で旧学生 GP の「G」「P」も見えるような形でこれまでの活動のつながりを出しています。

No. 1 1



パズルのピースをモチーフに使用しました。これは熊本県の形にできるだけ似せて作っています。熊本県内で生まれたアイデアという意味でこのパズルのピースの中に「！」を入れています。パズルのピースがあえて、下の枠からはみ出すことによって、「枠にはまらない独特のアイデアを想像し、地域課題を解決していく。」という願いを込めました。下の枠（四角の部分）は少し薄めの赤にすることで、自分たちの意見（地域連携型学生研究）は、（自分たちのアイデアが赤なので、それは基盤としてそこから）なにものにもなれる。という意味を込めました。色を赤にした理由は熊本らしさ、熊本県立大学のロゴに赤が含まれていること、学生や企業が何かに取り組むための熱意を表現したかったからです。

No. 1 2



デザインのポイントは学生が地域の作物文化、人、
環境等の地域の要素に

触れ、考える中での発見をし、新しいアイデアを
地域に提供していくことをイメージして作りまし
た。

一つ目は少しイラストのようになってしまったた
め、よりシンプルにした2つ目の案も提案させてい
ただきます。

No. 1 3



デザインのポイントは学生が地域の作物文化、人、
環境等の地域の要素に

触れ、考える中での発見をし、新しいアイデアを
地域に提供していくことをイメージして作りまし
た。

一つ目は少しイラストのようになってしまったた
め、よりシンプルにした2つ目の案も提案させてい
ただきます。

No. 1 4



アピールポイントとしては地域企業・
団体の皆様と学生との結びつきや研究
テーマを募りそれに応えるという活動
内容が一目でわかる点です。また両者
の立場等の分かりやすさにも気を使
い、服装などを記号化しデザインに盛
り込みました。

No. 1 5



地域の手と学生の手が握手を交わすことでタッグを組むイメージを表現しています。ですので、地域と学生の文字のところから手が出ているようにしています。地域の手はGood👍、学生の手は手を貸す、引っ張りあげるような意味も込めています。また、地域と学生が連携することで新しい芽が生え、希望が生まれるようなイメージを込めました。